

競技注意事項

1. 本競技会は、2022 WA Competition & Technical Rules、2022 年度日本陸上競技連盟規則、「競技会における広告及び展示物に関する規程」及び大会申し合わせ事項による。
 ※使用可能なスパイクの一覧表の検索方法（毎週金曜日に更新される）
 URL：Technical Information | Official Documents (worldathletics.org)
 中の MANUALS&GUIDELINES World Athletics Approved Shoe List



2. アスリートビブスは競技者に①氏名、②番号、③氏名と番号の計 3 枚を配付する。
 原則として、①を胸に、②を背につける。
 ただし、跳躍競技出場者は③を胸か背のどちらかにつけること。

3. 招集時刻は下記の通りとする。

種別	招集完了時刻
トラック	15分前
フィールド	40分前
	(棒高跳 15:30 ~)

【注意】

- ①招集完了後、トラック選手はスタート位置で、フィールド選手はピットで選手紹介を行うので、本人が出向くこと。
 ②棒高跳の招集は競技実施エリアで行う。
 ③リレーオーダー用紙は競技開始時刻の 1 時間前までに招集所に提出すること。

4. バーの上げ方

種目	バーの上げ方						
	練習	1	2	3	4	5	以降
男子走高跳	1m95	1m95	2m00	2m05	2m10	2m15	+3cm
	2m10						
女子棒高跳	3m50	3m50	3m60	3m70	3m80	3m90	+5cm
	3m80						

5. レーン順及び試技順は、プログラム記載順とする。
6. ①C R 18.5及びT R 7.2の適用により、不適切行為をこの競技会中に 2 回行った競技者は失格とし、この競技会における以後の全ての種目に出場できなくなる。
 ②T R 16.8の適用により、不正スタートした競技者は失格とする。
7. 競技場内での投てき練習は、1 人 2 回までとする。
8. 競技に使用する用器具はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
 ただし、投てき用具は検査のうえ、個人所有のものを使用できる。
 投てき物の検査は用器具庫の前で競技開始時刻の 1 時間半前まで行う。
9. 第 3 位までの入賞者は表彰を行うので、競技終了後直ちに正面玄関に集合すること。
 その際には 2. ①のアスリートビブスを胸につけること。
10. ドーピングコントロールテストを指示された競技者は、競技役員の指示に従ってテストを受けること。
11. 競技場内で練習ができるが、開会式及び周回競技実施時は練習を中断する。
 サークル等での投てき練習、バーをかけたの跳躍練習は競技開始前のみとする。

投てき用具一覧表

レモンガススタジアム平塚

種目	規格		設置数
男子ハンマー	7・26kg		
	タングステン	径110	3
	鉄	径115	5
女子やり	ミディアム	35-45M	3
	ロング	45-55M	3
	スーパー	55-65M	3
	ノルディックダイアナ	60-70	2
	ネメト	80	1
男子砲丸	7・26kg		
	鉄	径125	6
	砲金	径115	2
女子円盤	スーパーHM	1kg	4
	スーパー	1kg	4